

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

宮崎県

行事名称	文化財防火デー「延岡城・内藤記念博物館」火災防御訓練
実施期間・日時	令和8年1月26日(月)10:00~11:00
実施場所	延岡城・内藤記念博物館（宮崎県延岡市天神小路255番地2）
主催者	のべおか歴史文化推進事業体（延岡城・内藤記念博物館指定管理者）

■実施内容

訓練の想定

延岡城・内藤記念博物館和室棟（延岡城・内藤記念博物館敷地内の別棟）水屋から出火し、初期消火活動にもかかわらず延焼、和室棟内に逃げ遅れている利用者がいると想定。

訓練の内容

和室棟利用者が火災発見、指定管理者に通報。

指定管理者、市職員による通報、初期消火（消火器・消火栓）、重要物品（模擬）搬出、利用者の避難誘導訓練を実施。消防署による利用者の救助、放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

指定管理者職員（13名）：119番通報、館内放送、初期消火、避難誘導

延岡市歴史・文化都市推進課（12名）：館内放送、初期消火、重要物品搬出

延岡市消防本部・消防署（26名）：全体統括、放水訓練、救助訓練、講評

特に工夫した点

今回初めて、職員が常駐していない建物である延岡城・内藤記念博物館とは別棟の和室棟において出火、利用者から指定管理者に通報があったと想定し、訓練を実施した。

問題点・課題

出火元である和室棟が延岡城・内藤記念博物館と別棟であったことから、通報受信直後の現地確認から初期消火開始までに時間を要した。

消火活動・避難誘導を迅速に行うことができるよう、連絡・指示体制を見直すことが課題。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、避難誘導の方法や消火設備の使用の確認ができ、防災の必要性を確認する機会となっている。

訓練風景

